

中大塚の家

(なかおおつかのいえ)

設計者／株式会社 小林建設一級建築設計事務所

施工者／株式会社 小林建設



設計主旨

CONCEPT

藤岡市の郊外に位置する田園風景の残る敷地に建つ、4人家族の住まいです。敷地は実家の隣に位置し、当初から平屋の住まいを希望されていました。平面計画は、廊下の無いシンプルな矩形のプランです。どうしても廊下をつくると面積が増えやすいため、部屋同士がつながるように意識し、廊下の無いコンパクトなプランを心掛けました。

リビングダイニングの中央には、栗の丸太柱を入れ、家族が集まりやすく、この家のシンボルになるよう考えました。キッチンも対面式ではなく、壁付とすることで、リビングを広く使うことができます。ただし、常に丸見えになってしまうことから、建物の雰囲気合うよう造作のキッチンを提案し、壁はタイルを貼ることで空間のアクセントになるようにしています。

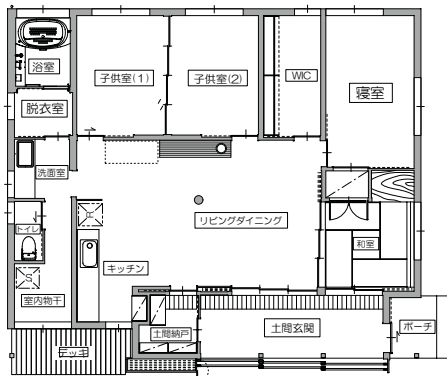
南側には玄関を兼ねた土間サンルームを設けています。冬場には開口部から取り入れられた太陽熱が石に蓄熱され、日没後に暖房効果をもたらします。開口部も全開放できる引込みの木製サッシとし、屋外空間とのつながりを高めています。

省エネに意識の高いお施主様でしたので、太陽熱利用のOMソーラーと太陽光発電を兼ねたOMクワトロソーラーを採用しています。OMソーラーは群馬の気象条件に適合した有効なパッシブ暖房です。また、同時期に住宅のゼロ・エネルギー化推進事業の補助金が採択されたことから、ZEH仕様の建物となっています。

構造材にはぐんまの県産材を利用し、太陽光発電、太陽熱利用暖房によってゼロエネルギーを実現した次世代の「ぐんまの家」が完成しました。



1F 平面図



RF 平面図

